

あらすじ

初代 司法卿
江藤新平
「誤解ないば、いずれはとける。」
「死を恐れぬ人が強いのではない。死を恐れる人が強いのである。」

○2004秋。佐賀は「佐賀城本丸歴史館」の完成で賑わっていた。この物語は古賀老人のギター(ギターの弾き語りから始まる)の弾き語りから始まる。明治元年の秋、柳橋の料亭で江藤新平と勝海舟は運命の対面をした。

新平。江藤新平は天保4(1834)年2月9日、肥前佐賀藩に生まれた。父の江藤助右衛門は郡目付(地方警察官)であった。貧しかった新平は通常6、7歳で通い出す佐賀藩の弘道館にも16歳になつてから、やっと入学した。母の浅子は貧しくとも勉学の大切さを新平に教える賢い人だった。弘道館の書生寮に寄宿した新平は、髪はのび放題、粗末な服を着て読書ばかりしていた。22歳になった新平は「図海策」という論文を書いて、海国論を主張した。翌安政4年にはいとこの千代と結婚する。翌万延元年、幕府は咸臨

丸を米国に派遣、桜田門外では井伊大老が暗殺された。そして、ついに佐賀藩を脱藩した新平は、幕末のぎりぎりの時期にその姿を世間に現した。京に上つた新平は文久2年、桂小五郎と会見した。新平は、帰国後脱藩罪で永熟居を申し渡される。1867年、いよいよ薩摩長州による幕府討伐、つまり戊辰戦争が始まろうという時期、新平は塾居を解かれ佐賀藩から上京を命じられる。新政府で多くの役職を歴任した新平は、明治5年、ついに現在の法務大臣に相当する司法卿に就任したのである。「司法権の独立」「人権擁護と人間解

放」「法体制構築」。江藤新平は多大なる実績を残し、わが国の近代司法体制の生みの親となった。「人民の権利、弱き民のために」。新平は日本の司法制度及び警察制度の基礎を作るが新政府の洋行組の首領大久保利通と激しく対立する。

【スタッフ】

- 作・演出 岡部耕大
- 美術 寺岡崇
- 照明 西尾憲一
- 音楽 斉藤英士
- 衣裳 松竹衣裳
- 宣伝美術 岡部萌子
- 写真 山本悟正
- 舞台監督 小平洋志

Cast(50音順)



いわいのふ健 越前屋加代 岡部大吾



小澤俊明 小池雄介 坂井康浩



瀬川夏未 高野宏之 高橋広司



茅根直美 服部博行 増山浩一



谷代克明 矢野宣 山本真一郎

開場/開演	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)	18(月)
13:30/14:00			✓	✓	
18:00/18:30	✓	✓			✓

9/6日発売開始 全席指定

■ 一般	税込 4,500円
■ ペアチケット (要予約・岡部企画扱い)	税込 8,500円
■ グリーンチケット (16歳以下・岡部企画扱い)	税込 2,500円

お問い合わせ・前売り

■ 岡部企画	044-933-9754
■ 電子チケットぴあ	0570-02-9999
■ イープラス (パソコン・携帯)	eee.eplus.co.jp
■ キノチケットカウンター	新宿東口紀伊國屋書店5F (店頭販売のみ 10:00~18:30)

2004年10/14(木)▶18(月)

新宿 紀伊國屋ホール 紀伊國屋書店 新宿本店 4階

■「新宿」駅東口下車 徒歩5分 ■地下鉄丸の内線、都営新宿線「新宿三丁目」駅下車 B7・B8出口
TEL 03-3354-0141

■企画・制作/岡部企画

TEL.044-933-9754 〒214-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-7
URL http://www3.plala.or.jp/koudai/ e-mail ko@lilac.plala.or.jp

